

# 長野県

## 長野県退職校長会

結成 昭和54年5月26日

### 1 長野県退職校長会の沿革

昭和40年、日本教育推進連盟の下部組織として、「長野県支部」と称し発足した。昭和50年頃から連盟の活動が不活発となり、3年かけて対応を協議してきた。

昭和54年の総会において、会名と規約の変更を議し、「長野県退職校長会」として新たなスタートを切った。「長野県教育の正常な発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と福祉を増進する」を目的とし、諸活動を推進してきた。

平成30年度には創立40周年を迎える。

### 2 「教育現場の応援団」としての活動

我が国の将来を担う子ども達が、それぞれの夢と希望を持って自己実現できるよう、教育現場でお世話になった我々会員が、全ての方々への恩返しの気持ちで、教育現場の応援をしたいと取り組んでいる。

#### (1) 校長を励ますメッセージ

国や県から学校現場に押し寄せる教育改革や教育的諸課題、教職員の不祥事多発によるマスコミや社会からの厳しい目や不信。このような時にこそ校長は自信をもって学校経営に当たってもらいたいと願い、平成25年8月、県内全小・中・特別支援学校長へ思いを伝える「校長先生方へのメッセージ」を手渡す活動を行った。顔を合わせ、声を掛け合い、直接手渡した。

#### (2) 「信州型コミュニティスクール」への理解と協力

県教育委員会は、これまで築き上げてきた学校と地域が連携して子ども達を育てる取り組みを、一層充実・発展させようと、「信州型コミュニティスクール」を進めている。

退職校長会は、この事業についての理解を深める研修を重ね、会員の経験や知恵が生か

せる場に、積極的に参画し、協力していこうとしている。

### 3 教育関係機関、諸団体との教育懇談会

それぞれの立場の現状や課題を共有し、共に課題の解決に努めるべく、多くの教育関係諸機関・諸団体と情報意見交換し、連携を深めていく大事な役割を担っている。[県教育長、義務教育課、教学指導課、文化財・生涯学習課、県校長教頭組合、県小・中・特別支援学校長会、信州大学教育学部、信濃教育会、青少年育成6団体等]

### 4 信州「教育の日」の推進

信濃教育会、県PTA連合会と共に呼びかけ開催した信州「教育の日」は、22の構成団体、県教委他100団体以上の後援のもと、毎年11月に開催している。

平成26年度は13回目を数え、一般県民や若い世代の参加を進め、民間団体主導による教育風土の醸成に努めている。

### 5 支会の主体的活動の支援や情報交換

14支会がそれぞれ主体的に活動を展開し、存在感を示すと共に会員相互の絆を深めている。

年4回の支会長会や隔年開催の事務局長会での自由闊達な情報交換、また支会発行情報紙の交換等で支会との連携を深めている。



信州「教育の日」地元の子ども和太鼓演奏